

壁紙施工要領書

塗装用壁紙 P-WALL

施工の下準備

施工の下準備は【一般壁紙】施工要領の「1 作業確認」「2 事前準備」「3 施工環境の調整」をご確認ください。

接着剤

糊は【一般壁紙】施工要領の「5 接着剤と養生」をご確認ください。

1 P-WALL施工上の要注意点

- P-WALLは、指定材料のピーウォールクロス（壁紙）とピーウォールペイント（塗料）を使用し、指定工法に基づいて管理、施工される商品です。この条件を満たした場合においてのみ、リリカラの責任管理による防火壁装材料として認められます。
- 調色や、防火施工管理ラベルの発注に関しては、本資料4ページをご参照ください。
- 塗装を前提としたガラス繊維製の壁紙です。裏打ち紙無で巾は100cmです。
- 塗装前はガラス繊維が皮膚に付着し、チクチクする場合があります。手袋・マスク・長袖を着用するなど取り扱いには十分ご注意ください。付着した場合や作業後は石鹸などでよく洗い流してください。

2 下地調整

- 一般クロスの施工より特に念入りに下地の処理を行ってください。
- 貼り替え時には、下地面に残った残紙を剥がしてください。
- 必ず水気を取り除き、十分に乾燥させてから施工してください。
- 釘、ネジは、下地面より沈むように打ち込んでください。ステンレス、真鍮以外は錆止めをしてください。
- 商品厚が薄いので下地の不陸を拾いやすく、入念な下地調整を推奨いたします。できるだけ平滑に仕上げるようにしてください。
- 下地面に汚れやチョーク等による文字などが残っている場合は除去するようにしてください。
- パテは下地と同色の樹脂入りのものを使用してください。強度の弱いパテは剥がれの原因になります。
- 接着性の悪い下地（ケイカル板、粉吹き下地、ペンキ下地、化粧板など）には必ずシーラーまたはプライマーを塗布してください。下地を補強し壁紙の剥がれ、目開きを防ぎます。
- 出隅はコーナービートで補強し、パテ付けの上、サンダーで直線を出してください。
- 入隅はパテ+サンダーがけを行います。隙間が大きい場合は現場に修正を要求してください。

3 材料の確認

- 品番や柄の間違いないかを確認してください。
- 両耳の折れ、キズ、汚れなどがいないことを確認してください。
- 生地の裏表の確認をして下さい。ピーウォールクロスは外表巻きです。商品の性質上、貼り直しが出来ませんので十分ご注意ください。

4 接着剤

- 塗装前提のため、下地と壁紙の浮きがでないよう、高い接着強度が必要です。
- 接着剤は、濃いめ（6～7割希釈）のものにエチレン酢ビ系ボンドを10～20%程度混合してください。
- 規定量のボンドを配合しなかったり、規定以上の水で希釈した場合は、接着不良の原因となりますので、必ず守ってください。
- 裏打ち紙がありませんので、下地側に接着剤を塗布する向こう糊施工となります。
- ローラー塗布を基本とし、見切り部分や入隅等、糊の塗布しにくい部分は、刷毛を使用してください。（裏打ち紙が無いので、糊付け機は使用できません。）
- クロス表面に付着したり、はみ出したりした糊は素早く拭き取ってください。これを怠りますとペンキを塗る際、色ムラの原因となりますので注意してください。また、下地面のパテかす、ゴミは除去してください。

5 施工

- 同一面は一本のロール反で施工することをおすすめします。
- 施工法は、基本的に「突付け施工」をお願いします。やむを得ず重ね断ち施工をする場合は、下地を切り過ぎないように下敷きを入れてカットしてください。
- 出隅は、10cm以上クロスをまわしてください。
- 入隅の折り返し部分はカットしてください。建物の多少の動きにも対応しきれいに仕上がります。
- 硬い商品なので、刷毛や地ベラは使用せず、必ずプラスチック製のヘラを使用してください。
- カッターの刃はこまめに替えて、常に鋭利な状態でお使いください。
- ジョイント部のローラーがけは軽くおさえる程度にしてください。天地の際は浮きやすいので、プラスチック製のヘラでよく押さえてください。
- 施工終了時は浮き、はがれがないかどうか等、自主検査を励行してください。
- ガラスクロスなので、多少ガラス繊維が皮膚に付着し、チクチクする場合があります。取扱いには十分注意してください。手袋、マスク、長袖の着用をおすすめします。また、付着した場合は石鹸などでよく洗い流してください。

6 塗装前の確認

- クロスの浮き、剥がれなどがいないかどうか、改めて確認してください。
- クロス施工後の乾燥状態を確認してください。クロス施工を終えてから約24時間の養生が必要です。環境が異なる場合はさらに乾燥が必要な場合もあります。（気温20℃前後、湿度40～70%が望ましい環境です）
- 塗料の品番確認をしてください。
- ピーウォールペイント1缶(16kg)に対し、上水800cc～1000ccを加えた後、攪拌機で十分に攪拌してください。仕上りはほぼツヤ無です。希釈することで作業性は向上しますが、希釈率は、濃すぎても薄すぎてもきれいな仕上がりは期待できませんので、必ず守ってください。

7 塗装方法

- 仕上げ工具はローラーブラシをお願いします。隅回り（ダメ込み）は、スモールローラーを使用してください。
＜仕上げローラーの目安＞ 塗装一回目／中毛（13mm） 塗装二回目／中短毛（11mm）
- マスキングを丁寧に行ってください。特に巾木まわりは注意してください。

一回目

- 塗布量は約300 g / m²が目安です。
- 隅をスモールローラーで塗布後、すぐに全体を仕上げローラーで塗ります。同一壁面は、極力一度で塗装し、壁面途中での缶の切替えはしないよう心がけてください。
- 一回目の塗布から乾燥時間を、約24時間とった後、二回目の塗布に入ってください。
- ジョイント部など、横糸のはねなどは削り取ってください。
- 一回目と二回目の、希釈率は変えないでください。

二回目

- 塗布量は約150 g / m²が目安です。
- 塗り方は一回目の方法に準じますが、ローラーの耳マークが残らないように注意してください。
- 塗装面に塗り残しや塗リムラがないかを点検してください。
- やむを得ず補修などをする場合でも、合計の塗布量は550 g / m²を越えないように注意してください。

P-WALL 発注手順書



※詳細は弊社担当営業へお問い合わせください。

Lilycolor

サンプル依頼

P-WALLクロスにご希望されるカラーを塗布したサンプルをご用意可能です。



※価格については弊社担当営業へお問い合わせください。

Lilycolor